

細かい工夫で短納期を実現。 LED事業で業容拡大へ

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンラインワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



検査機によって早い段階で不具合を検知する

業務内容

LED関連製品を中心に
多くの電化製品の基板を実装

電気製品内部に組み込まれるプリント基板の実装が主力で、売上全体の80%を占める。LED照明関連製品のほかには太陽光発電や通信機器など、幅広い製品の電子基板を手がける。大量生産用の設備を導入しているが、場合によっては機械へのプログラム入力工程を省いて手作業に切り替えるなど、多品種少量生産にも柔軟に対応。細かい工夫によって短納期生産を実現している。また、LED関連のノウハウを生かして、近年は独自製品のLEDモジュールの製造・販売を開始。関西の大手商業施設の看板などで幅広く利用されている。

強み

下流工程に不良品を流さない
体制で高品質を実現

多くの細かい電子部品を扱う基板実装では、検査の精度が製品の質を左右する。当社では製造ラインの途中に印刷検査機や装着検査機を設置。製造途中に不具合を検知した場合には、その時点で上流工程へ迅速にフィードバック。そもそも不良品が下流工程に流れていかない体制を構築している。これにより、従来1%前後だった不具合発生率を、0.2%未満にまで減少させた。

ただ、検査機で不具合を検知はできても、その確認・修正はどうしても手作業が中心となる。そこで、独自の認定検査員を約15名動員することで、対応を強化している。

独自製品

新発想で生まれた
LED照明で省エネ実現

平成26年に販売開始した独自製品が、LEDモジュール「輝烈（KIIT ERETSU）」。通常のLEDに拡散レンズを被せることで、光源の角度を拡大。一球のLEDでより広範囲を照らすことができるため、照明器具内部のLED同士の間隔を広くしてもムラのない均一な光を実現できる。LEDの球数が少なくて済むので、従来製品と比べて約30%の省エネとなる。また、

拡散レンズの素材にはガラスではなくプラスチックを採用することで、大幅な低コストを実現。大手商業施設を中心に幅広く導入され高い評判を得ている。



自社製品「輝烈」で打開するか

今後の展望

次の一手は紫外線LED

独自製品として販売し始めたLED照明の商品ラインナップの拡充を進めていく。現在は紫外線照明の設計を専門とする関連会社と連携して紫外線LEDの開発に取り組み。植物育成の現場や、殺菌機能を生かした浄水機事業など、多様な用途を見込んでいる。将来的には、LEDの波長を調整することで、紫外線レベルが強い工業用製品の用途拡大を模索する。

また、LEDの電源分野でも研究を進めており、インバーターを改良することで電力のロスを減らすことができると考えられている。

COMPANY PROFILE

ヨーホー電子株式会社

大阪 27

当社の歴史

民生品向け基板実装の下請け事業で創業。平成13年以降は、多品種少量生産の実装を開始し、産業機器分野へ事業領域を拡大しました。その後は基板設計業務も行い、平成23年にはOEM（相手先ブランド生産）の受託を開始。現在はLEDモジュールなどの自社製品の製造・販売にも乗り出しています。

社内での一貫生産体制を構築しているため、量産生産・多品種少量生産のどちらにも柔軟に対応可能です。

代表取締役 辻 洋三さん



■主な事業内容

プリント基板の設計・実装・組立、LED製品の開発・製造・販売

■主な取引先（納入先）

産業機器メーカー、通信機器メーカー、電源メーカー、照明器具メーカー、広告代理店、研究開発機関

住所／〒571-0017

門真市四宮
6-6-46

TEL／072-881-6355

FAX／072-881-8910

創業／昭和63年6月

設立／平成2年1月

資本金／1,000万円

従業員／120名

<http://yoho-denshi.com/>